



西会津中学校 学校だより

令和4年6月1日発行
6月号 No.3
発行者 校長 佐藤 崇史

雄飛

【教育目標】
未来の可能性を創造していく生徒

自主

自律

敬愛

健康

自律するために必要なことは ~自分と向き合う力をつける~

5月16日に開催されました学校運営協議会の中で、学校経営方針について委員の方々から承認をいただきました。目指す生徒を「気づき、考え、実行できる生徒」とし、生徒が「自律」していくことをすべての教育活動の中で意識していくことを中心に説明しました。

自律するということは、自分で正しく判断し、行動できるようにすることです。ある意味では、自らの力で自分を成長させられる、より良い状態を作り出せることともいえます。そのような力を身に付けるために必要な「スキル」がメタ認知能力です。最近よく耳にする「メタ認知」という概念は、認知心理学の領域で生まれたものです。メタ認知能力が高い人ほど自分の特性や癖を正確に把握できるため、目標達成能力や課題解決能力が高いといわれています。

メタ認知の定義はいろいろありますが、簡単にいえば「自己を客観的に捉え、自分をより深く知る」ことです。自分のことを客観的に見る行為はメタ認知にとって欠かせません。客観的に自分を見るということは、「他人のように自分を見る」ということですが、さらに客観を細かく考えると二つに分類できます。

一つは、外部の視点で見ることです。テストや成績、人からの評価などがそれにあたります。もう一つは、内部の視点で見ることです。自分の記憶をたどって自分自身のことを見る、いわゆる「振り返り」のことです。

メタ認知能力を高めるには、この「内部の視点」で自分と向き合う機会を増やすことが大切です。自分のことを見つめる「内省」をする機会をもてばもつほど、確かな「自己」がつけられるのです。この内省が「自律」するために必要になる当事者意識をもつことにつながるのですが、これがなかなか難しいです。

私たちは、うまくいかなかったら誰かのせいになり、不満があったら誰かを責めたりしてしまうことがないでしょうか。このような他責の考えからは、当事者意識は生まれません。「自分の責任かもしれない」「自分にできることがあるかもしれない」という発想で物事を捉え、内省することが必要なのです。

自分と向き合う「内省」をする際に、外部の出来事について自分に関係することであるという「複数の視点」で見ることで、当事者意識は形づくられます。それこそまさに自分を客観的に見るというメタ認知能力です。

だから、生徒たちには「葛藤」や「夢」を大切にさせたいと思います。どうしたらいいかと自分の心の中で「葛藤する」ことは、二つ以上の立場で考えること、つまり複数の視点で自分自身を見つめることになります。「夢」や「目標」を明確にもつということは、どうやったら実現できるかと真剣に考え、自分の強みや課題、こだわりなど、自分と真正面から向き合うことそのものです。葛藤することや夢を大切にすることが、まさに、当事者意識やメタ認知能力を身に付けるために必要なことなのです。

今年もメジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手の「マンガラート」という目標達成シートは有名ですが、これも複数の視点で自分自身を見つめるメタ認知につながっています。そして何より、目標に向かってどうやったら実現できるのかと、正面から自分と向き合うことになるのです。やはり、メタ認知能力が身に付いている人ほど、目標を達成していくのです。

葛藤しながらも夢や目標に向かって努力し、自分と向き合う「振り返り」の時間を大切に、メタ認知という自律のために必要な力を、子どもたちに身に付けさせたいと思います。(裏面の記事も、まさに子どもたちの自律につながる活動です)



【大谷選手の「マンガラート」】

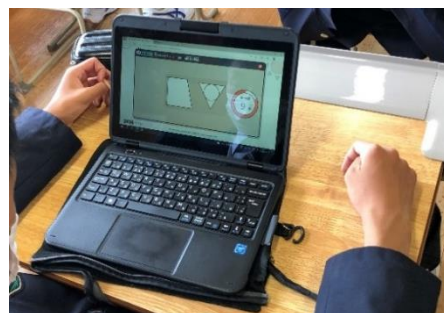
他人の物差し、自分の物差し、それぞれ寸法が違うんだな (相田みつを)

コグトレ ~認知機能の「覚える」「数える」「見つける」を強化~

本校では読解力を高める手立ての一つとして、認知機能を強化するための「コグトレ」に取り組んでいます。

この取り組みは、「覚える」「数える」「見つける」などの認知機能の訓練につながり、読解力の大前提である「書いてあることを正しく認識する」ことにつながります。

昨年度まではプリントに書き込んで行っていましたが、今年度からオンラインで Mouse Pro を使って行うことにしました。生徒たちは、自分のペースでどんどん進めることができ、自ら学びに取り組む西会津中生にぴったりの方法です。自分で進められることから、取り組みのスピードが昨年よりも早いと感じます。



校内陸上競技大会 ～応援する楽しさ、応援される素敵さ～

5月2日に校内陸上競技大会を実施しました。昨年はコロナのため、予定通りに実施できず、延期したことが思い出されます。

今年度は肌寒い中でしたが、無事に実施することができました。実施できることに感謝し、そして全力で「走り」、「跳び」、「投げる」ことを楽しみ、ケガなく笑顔で素敵な一日にしようと話しました。しかし、西中生はその上をいきます。お互いに応援し合い、そのことを楽しんでいます。小学校6年生も100m走に参加し、先輩たちと走ることを楽しんでいました。

競技だけでなく、応援するのも、されるのも楽しみ、みんなが気持ちよく過ごすことのできた、素敵な時間でした。



全会津中体連陸上大会 ～ライバルは自分自身！！～



全会津中体連陸上大会が5月17日、18日に行われ、生徒たちは自己ベストを目指し、自分の力を発揮しました。

陸上競技はその競技の多くが一発勝負。その瞬間にすべてを出し切るためには、弱気になる自分に克つことが必要です。ライバルは自分自身です。多くの生徒がしっかりと自分と向き合って準備をし、自己ベストを更新しました。何より、お互いにサポートし合ったり、声を掛け合ったりする素敵な姿に、自分に克つためには一人で自分と向き合うだけではなく、仲間と力を合わせることも必要なのだと教えられました。

アントレプレナーシップ学習 ～体験にまさる学びなし～

3年生のアントレプレナーシップ学習では、昨年度から考えてきた西会津のワクワクする未来に向けたアイデアを実現するために、町の事業所さんに協力をいただきながら、さまざまな体験をしています。実際に空き家を利活用している様子を見学したり、VRを体験したりしながら、できることを具体的に探しています。

頭で考えるだけ、人の話を聞くだけでなく、体験することで、よりはっきりとイメージすることができます。「体験にまさる学びなし」です。多くの体験から、たくさんの学びを得てほしいです。



草むしり大会～自分たちがやる～

今年度も、全校生で第一グラウンドの草むしり大会を行いました。この取り組みの素敵ところは、生徒会長を中心として生徒会が考え、実行しているところです。

いつも使用しているグラウンドをきれいにするために、自分たちで方法を考えて、自分たちでやろうとすることに大きな意義があります。そういう行動こそ、当事者意識をもつことであり、「自律」につながるものです。何より、暑い中、どの学級も一生懸命に草むしりを行っている姿から、自分からやるという主体的な活動が学校生活を楽しむためにも大切だと改めて感じました。

西会津中は、これからも自分たちで考え、実行することを大切にしていきます。



6月の予定

- 3日(金) 全会津中体連壮行会(総合・水泳)
- 5日(日) 尾野本地区リサイクル
- 8日(水) 熟読タイム3
- 9日(木) 全会津中体連総合大会1日目
- 12日(日) 新郷・奥川地区リサイクル
- 14日(火) 全会津中体連総合大会2日目
- 15日(水) 全会津中体連総合大会3日目
- 17日(金) リーディングスキルテスト
- 20日(月) 2年喫煙防止教室
- 21日(火) 教育相談(～27日)
- 22日(水) 全会津中体連水泳大会1日目
- 23日(木) 全会津中体連水泳大会2日目
- 24日(金) 3年高齢者疑似体験
- 26日(日) 群岡地区リサイクル
- 27日(月) 心電図検査(1年)
貧血検査(2年)
- 28日(火) 第1回パワーアップテスト
- 29日(水) 前期専門委員会中間反省
- 30日(木) 2年アントレプレナーシップスクール